

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

【JPCSA 通信 Vol.10】

2019年6月26日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。
いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

東京は空梅雨気味でどんよりとした曇りの日が多く、雨が恋しく感じる一方、色とりどりの紫陽花を町のあちらこちらで鑑賞するのを楽しんでおりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。最近の紫陽花は、花びらの形も色も様々で毎回新たな発見をしております。体調を崩しやすい季節でもありますので、どうぞ皆様ご自愛ください。

さて、今回は JPCSA 最新情報、農泊関連情報をお届け致します。

<JPCSA 最新情報>

◆社員総会・理事会・評議会・賛助会員報告会開催のご報告

5月31日（金）に東京都千代田区大手町にある『AgVenture Lab（アグベンチャーラボ）』（※後述）にて社員総会・理事会・評議会・賛助会員報告会を開催し、前期の事業報告や、今期の事業計画の発表を行いました。

前期から新たに追加致しました事業は下記の通りです。

事業項目	概要
国際シンポジウムの開催	国際連携や国際水準の農泊を目的に海外から実践者や専門家を招聘し、シンポジウムを開催
協会のプロモーション	地域の優良事例紹介等をおこない、農泊を推進するためのプロモーション
国際カンファレンス	韓国・済州観光公社と連携した国際カンファレンスの開催
海外視察	農泊実践者に向け、イギリス・イタリア・ドイツ・フランス等の先進国の取組みを視察し、農泊実践の目標や課題解決のヒントを習得
国内視察	農泊実践者に向け、国内の先進地における優良事例の視察や視察先での課題共有と解決策の共有を実施
認証制度	農泊の品質認証制度の設計と試行を実施
会員制度の改定	農泊の推進や当会の活動に賛同し、支援・協力をいただける個人を中心としたサポート会員や、農泊地域への送客やモニターツアー等に参加していただける個人会員を設定

今期も微力ながら皆様のお力となれるよう、また農泊による地域振興が進むよう尽力し

て参りますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。



賛助会員報告会の様子



理事会・評議会の様子

また、役員改選が行われ役員の再任が承認されましたが、株式会社 JTB の社内異動に伴い、今期から同社地域交流事業部長であります鈴木 雅之 様は新たに理事としてご就任いただくこととなりました。今期の当会の理事・顧問につきましては、以下の通りとなります。

役職	氏名	所属
会長理事	平井 伸治 (再任)	鳥取県知事
副会長理事	皆川 芳嗣 (再任)	株式会社農林中金総合研究所 理事長
代表理事	上山 康博 (再任)	株式会社百戦錬磨 代表取締役社長
理事	岡崎 浩巳 (再任)	地方公務員共済組合連合会 理事長
理事	藤本 隆明 (再任)	株式会社農協観光 代表取締役社長
理事	清水 清男 (再任)	一般社団法人全国農協観光協会 代表理事専務
理事	大室 真生	株式会社時事通信社 代表取締役社長
理事	鈴木 雅之 (新任)	株式会社 JTB 地域交流事業部長
顧問	久保 成人 (再任)	公益社団法人日本観光振興協会 理事長 元観光庁長官
顧問	清野 智	日本政府観光局 理事長

※今回の会場『AgVenture Lab (アグベンチャーラボ)』のご紹介

AgVenture Lab は、JA グループ全国連 8 団体とベンチャー企業・大学等が連携し、農林水産業の効率化や地域の活性化、高齢者支援などの課題解決を目標に掲げ、IT 技術を活用した食や農業、地域、暮らしなどの新たな商品やサービス提供を生み出す拠点として本年 5 月 27 日に開所致しました。192 社の応募の中から採択されたベンチャー企業 7 社のオフィスとして利用され、広い空間の中では、いつでも自由に企業間で話をする事ができる環境となっています。この空間の中で、農泊に関する新たな発想についても創造されていくことを願っております。

＜農泊関連情報＞

◆観光庁調査『訪日外国人が日本旅行中に困ったこと』

観光庁では、観光先進国を目指すべく様々な取り組みを行っておりますが、受入環境整備の課題を明確化させるため、昨年2018年11月～2019年2月の期間、訪日外国人旅行者を対象にアンケート調査を実施していました。2016年度（平成28年度）、2017年度（平成29年度）でも同様の調査を行っており、一部を除き各項目とも課題が改善され、困ったことはなかったとの回答も増加している一方、その他の決済手段（モバイルペイメント等）については、悪化していました。



(観光庁報道発表資料抜粋)

また、利用した際に困った公共交通機関としては、在来線、バス、レンタカーの割合が高くなっておりました。乗り場やICカードの使い方、切符の買い方などが分からなかったとの声とともに、現金以外の方法で支払いたかったが支払えなかったなど、やはり決済方法についての課題が目立つようでした。

観光庁の調査に関するページ：

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news08_000267.html

観光庁アンケート調査データ：

<https://www.mlit.go.jp/common/001281549.pdf>

◆農林水産省では、世界に誇れる日本の食×〇〇体験を募集しています。

食×スポーツ、食×歴史、食×アート…。日本には単に食べるだけではなく、食を通じて出会い、知り、深く共感できるような『食体験』があります。

農林水産省は、このような食体験を世界へ発信する活動『食かけるプロジェクト』をスタートします。

これに伴い、全国から世界に誇れる食体験を募集し、集まった事例から素晴らしい食体験を選ぶ『食かけるプライズ』を実施します。選ばれたアイディアは、世界へ向けて情報発信され、販売支援が行われます。例えば、地域の食材を使用した『ランチ×里山散歩』や『地域の祭り体験×行事食』など、あなたの周りにある素晴らしい食と関わる体験をぜひ応募してみてください。

募集期間：2019年6月11日(火)～2019年8月4日(日)

お問い合わせ：

農林水産省 食料産業局 食文化・市場開拓課

電話 03 - 6744 - 2012 (直通)

農林水産省『食かけるプロジェクト』に関するページ：

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/gaisyoku/190611.html>

◆農林水産省は『令和元年度 地産地消等優良活動表彰』の募集を開始しました。

今年度も、地産地消や国産農林水産物・食品の消費拡大に貢献する優れた活動を表彰する『令和元年度 地産地消等優良活動表彰』の募集が始まりました。

自薦・他薦、個人・団体・企業問わず、国産の農林水産物の消費拡大に関する創意工夫ある活動が皆様のまわりにありますら、ご応募してみたいかがでしょうか。

募集期間：2019年6月24日(月)～2019年8月9日(金)

※募集内容の詳細や応募方法につきましては、下記 URL をご覧ください。

農林水産省『令和元年度 地産地消等優良活動表彰』に関するページ：

<https://www.e-toroku.jp/eatlocal2019>

昨年度の受賞履歴についてはこちらをご覧ください。

https://www.eturoku.jp/eatlocal2019/chisan_chisho_koubo/download/cases_list_h30.pdf

お問い合わせ：

■地産地消等優良活動表彰事務局

株式会社ジェイアール東日本企画

電話：03-5447-7233

E-mail：chisanchisho@jeki.jp

■農林水産省

食料産業局 食文化・市場開拓課 佐々木 寛

電話：03-6744-2352

◆全国農業協同組合連合会が農泊の事業化を発表しました。

当会の賛助会員であります全国農業協同組合連合会（以下 JA 全農）の神出 元一理事長が6月20日東京都大手町にて開催された講演会にて、農泊の支援を事業化する方針を公表しました。農家の運営支援を行いながら、旅行者に対する宿泊や農業体験の予約サイトを立ち上げ運営していくことで、農村に新たな雇用や消費を生み出すことを目指すとし、当会や日本農泊連合様とも連携を図っていくと発表いただきました。当会も引き続き、様々な団体と協力しながら、農泊で地域が元気になる支援を行って参ります。

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

当会では随時会員を募集しております。

皆様の周りに農泊に取組中、またはご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、当会をご紹介いただけますと幸いです。

ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、こちらのメールマガジン上で、会員様が実施されます農泊関連イベントや研修の告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記 E-mail へご連絡をお願い致します。受信後、当会担当者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL:03-3526-2493 / FAX:03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら：<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail：info@jpcsa.org

=====